

教員名	梅田宙	所属学科	経営学科
<p><b>【ゼミでは何を学ぶのか】</b></p> <p>企業を経営するにあたって不可欠となる管理会計に関する手法を、文献、経済誌、アーカイバルデータ、可能であれば企業へのインタビュー調査等を通じて学んでいきます。</p>			
<p><b>【どのように学ぶのか】</b></p> <p>企業には会計以外にも多数の経営管理に活用できるデータがあふれております。管理会計は、目的適合性という観点から特定の目的に対応するようにデータを加工して経営者に役立つ情報に変換する技法になります。管理会計技法を下記の3つの方法を用いて学びます。</p> <p>1. 輪読</p> <p>管理会計に関するテキストを用いて、基礎的な知識の習得を目指します。毎週担当グループごとに報告を行い、報告内容に基づいてディスカッションを行います。</p> <p>2. 事例研究</p> <p>グループ報告の際には、各章で扱われているテーマが企業の実務ではどのように活用されているかを調査してもらいます。会計は理論とともに実践が重要なので、社会の動きや会社の取り組みから学ぶことが多いからです。</p> <p>3. 課外活動</p> <p>3年生, 4年生は他大学のゼミと合同で行うインゼミや、企業が主催するコンテスト（日経ストックリーグなど）に参加することを目指してもらいます。</p>			
<p><b>【学んだことはどのように生かせるのか】</b></p> <p>組織の規模が大きくなるほど複雑性は増大します。会計情報を読み解くことができれば、組織全体を俯瞰的に捉えることができます。また、組織の問題点の把握や、問題解決の方法を検討する際に役立てることが出来ます。さらに組織で働くなかで、自分の考えを主張する際に会計という客観的な情報を使いこなすことができれば、説得力のある主張ができると思います。会計情報を武器として活かすことができます。</p>			
<p><b>【おすすめの入門書・基本テキスト】</b></p> <p>櫻井通晴(2015)『管理会計第六版』同文館出版。</p> <p>竹内謙礼・青木寿幸(2009)『会計天国』PHP研究所。</p> <p>稲盛和夫(2000)『稲盛和夫の実学－経営と会計－』日本経済新聞社。</p>			
<p><b>【まだ見ぬ君へのメッセージ】</b></p> <p>大学生活の4年間は、時間をどう使うかを自由に決めることができます。これだけのまとまった期間が得られることは人生の中でも貴重な機会であると思います。学生生活で明確に目標を定め達成に励めば、自分を成長させられる可能性が高まります。是非有意義な学生生活を送って下さい。</p>			